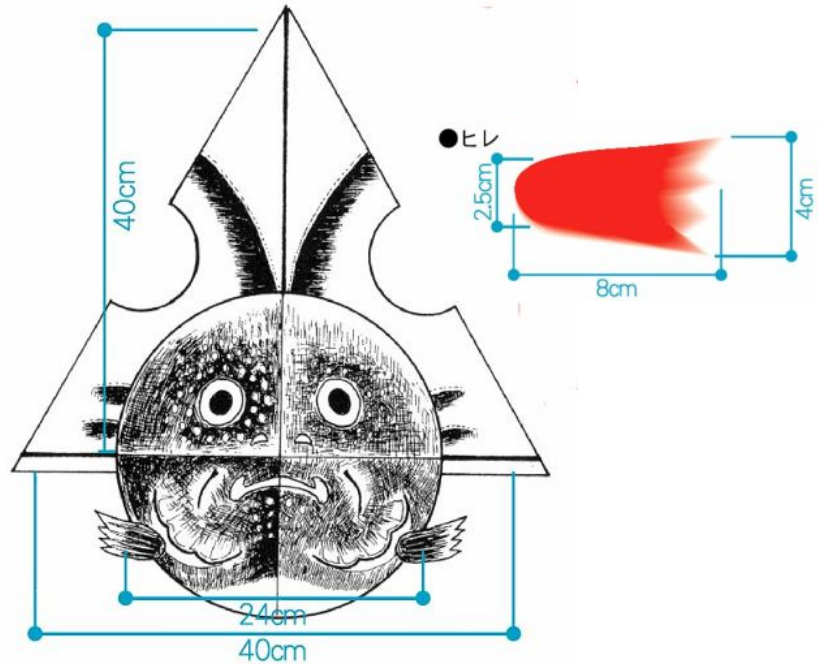


金魚ねぶた を作ってみよう!

1 金魚ねぶたの設計図

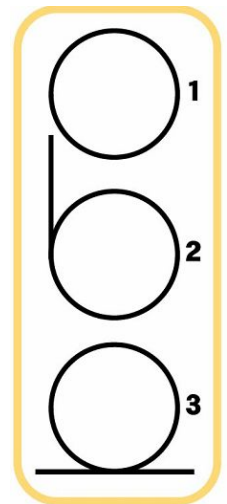
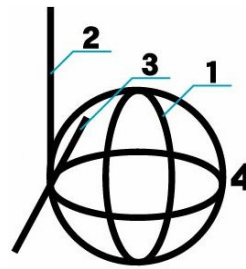
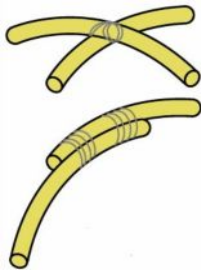


2 骨組み

竹または針金で直径24cmの輪を1・2・3 (右図) のように3種類作ります。

次に、それぞれの輪を4のようにしっかりと組みます。
(組む前にそれぞれの接合部をマジックインクなどで印をつけておくと後で楽です)

●木綿糸の巻き方



- ①巻き付ける木綿糸の長さ20cm程度を2つ折にする。
- ②接合部には木工用ボンドをつけ、その上から木綿糸を巻きつける。
- ③巻き端は、結ばず、そのまましておく



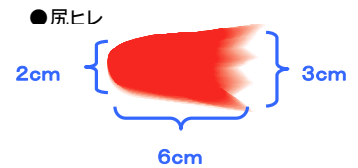
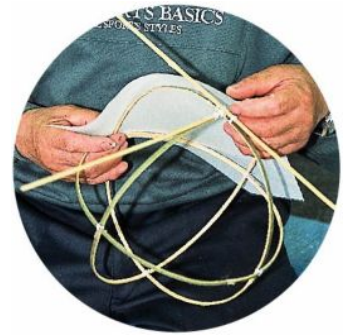
骨組み完成

3 紙貼り

紙貼りは、骨組みでしきられた1区画ごとに貼りつけていきます。

紙は半紙サイズを斜め2分の1にカットしておくのと貼りやすいです。のりしろは竹や針金の骨組みの太さが目安です。

- ①適度に切断した和紙を骨組みの1区画にあて、上から軽くなぞり、型をつける。
- ②和紙をつけた型の外側をハサミなどで切る。
- ③貼る区画部分の骨組みに木工用ボンドをつける。
- ④ずれないように位置を合わせ、和紙を貼る。
- ⑤他の部分にも同じように型を合わせた和紙を貼る。
- ⑥設計図にあるような大きさとで胸ヒレ(エラ部分にある)左右2枚を和紙で作る。*尻ヒレは、胸ヒレよりもやや小さめにする。
- ⑦尾を和紙で成形する。



4 墨入れ

目、口、鼻、エラを墨で描きます。
*あらかじめ鉛筆などで下書きしておくといでしょう。

5 ロウ引き(描き)

ロウで目、口、鼻、エラの縁取りをします。
ロウでうろこをていねいに描いてください。

- ①うろこは線と線が離れないように描いてください。
- ②目の周囲を点描してください。
- ③4枚のヒレや尾にも線を入れてください。

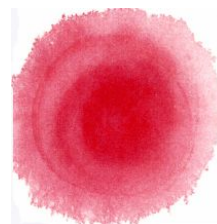


墨入れやロウ引きは、設計図や各写真を参考にしてください。

6 彩色(着色)

彩料の赤で金魚の身体を彩色してください。
目、口、鼻は黄色で彩色してください。

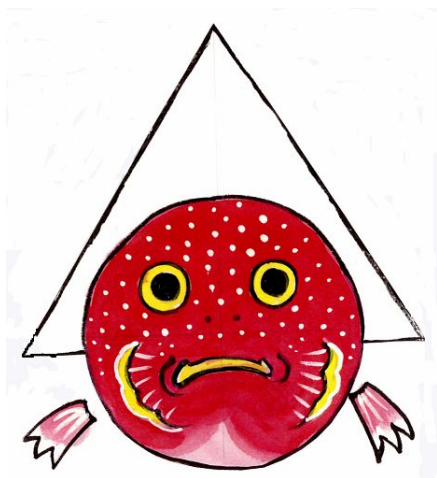
- ①各うろこやエラは、先端ほど淡くぼかしの技法を使ってください。
- ②4枚のヒレや尾も赤でぼかしを入れてください。



ぼかしの技法



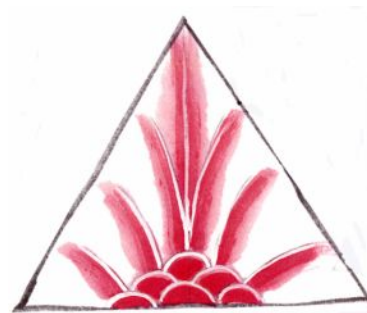
墨入れ・ロウ引き・彩色参考図



正面図



側面図



後面図(尾)

7 完成

絵が乾いたら、彩色したヒレを貼りつけてください。
尾は彩色後に貼っても構いません。

頭部の骨組みの交叉部分をカッターなどで2～3cm程度切り取り、糸を結びつければ完成です。
必要があれば、持ちやすいように糸の先に木や竹をつけてもいいでしょう。また、金魚ねぶたの中に照明が入るようにしてみてもいいでしょう。



【参考文献】

- 1) 「弘前ねぶた 津軽風のすべて」：津軽錦絵作家協会編、1997
- 2) 「2003 NEPUTA 弘前ねぶた」：弘前観光コンベンション協会・弘前ねぶた保存会、2003

【資料・金魚ねぶた提供】

本サイト作成に当たり、故 中野敬造さん、絵師の工藤盛龍さん、(株)協同弘前支社から資料等の提供をいただきました。